



国労西日本

NO.212

国労西日本本部

発行責任者 田中 守
編集責任者 羽柴 二郎

安全を守る
職場風土へ
変える先頭に

2014年
新春号

闘春

二〇一四年年頭にあたり

国労西日本本部執行委員長

田中 守

あけましてとうございませう。

新年にあたり、国労西日本本部執行委員会を代表して、各級機関及び組合員、家族の皆さまに旧年の奮闘に敬意を表しつつ、年頭のご挨拶を申し上げます。

国労の最大の課題は本部闘争指令に基づき、組織の割拡大目標の実現に向け、全機関が運動の中心として目標に近づけるよう奮闘することにあります。

役員のみならず全組合員が組織者となり、各職場での役割と責任を發揮し、系統的な運動を強化しながら、組合員の拡大と

結合し労働条件の向上や権利の確立に向け、更に運動を大きく取り組まなければなりません。

福知山線脱線死傷事故から八年が経過しましたが、相次ぐ退避不良や輸送障害、労働災害による休業の増加、重大労災である感電・墜落事故などが多発し、関連労働者の死亡も発生しています。

安全最優先の鉄道輸送には、要員増・保安要員の確保・外注化施策の見直し・展望ある技術継承・民主的な職場の確立が重要であり、安全は職場からを基

本に、関連を含めた組織化と職場の要求の前進を目指すものです。

北海道会社の事故や隠蔽体質などの安全問題は、利用者や国民の命に直結するものがあると共に、安全を守る企業としての責任・異様な労務管理と職場管理体制・国の分割民営化による長期債務や構造的矛盾、政府や国土交通省の規制緩和が明確となっています。

今後も、安全輸送の確立に向け、要求・交渉・運動の観点で職場運動を強化し、安全を最優先とする企業体質の変革に向け、取り組みを強化していきます。

安倍内閣は憲法の大原則である、人権・民主主義・平和を踏みつぶす、稀代の違憲立法である秘密保護法を強行成立させました。

国民の各階層の大多数が反対し危険性が明らかになった中、

追い詰められた安部政権と与党は暴挙を強行しましたが、国民の闘いは撤廃を求め、一層燃えるものとなっております。

秘密保護法の根底には、自衛隊と米軍が共に海外での戦争を可能とし、軍拡を進めながら日米軍事同盟を強化し、集団的自衛権の行使、憲法九条改悪の狙いに対して、広範な国民と共同し断固闘わなければなりません。

消費税増税・TPP参加・憲法九条改悪に反対し、沖縄米軍基地撤去・真の震災復興と原発なくせ・社会保障制度の拡充・労働法制改悪反対・JAL裁判勝利などを始めとする、



安全輸送の確保！労働条件改善！
組織拡大強化！14春闘勝利！にむけ、先頭に立ち奮闘します！

国民や労働者の生活と権利を守り、平和と民主主義を守るため、国民的課題と結合し国政革新を実現させなければなりません。
一四年国民春闘は、安全輸送の確立・労働条件の向上・組織強化拡大と政治的課題と結合し、西日本本部四〇〇〇名組織を展望し、着実に運動を進めていく決意です。
最後に、組合員・家族の皆さまのご健勝を祈念し、新年の挨拶といたします。

国鉄労働組合西日本本部

執行委員長 田中 守

執行副委員長 出戸 健治

書記長 佐々木隆一

執行委員 井戸 敏光

藤原 義久

新田 敏雄

青木 達夫

木元 昌

中本 博次

羽柴 二郎

特別執行委員 葎岡 庄吾

青年部長 強田 安昭

婦人部長 平岡 千鳥

会計監査員 亀尾 紀佐

書記 藤井 茂吉

大橋 進

上嶋 聡

北陸地方本部	
役 職	氏 名
執行委員長	中 村 一 彦
執行副委員長	南 昭 義
	藤 野 能 章
書記長	後 藤 通 広
執行委員	山 田 輝 男
執行委員	作 内 嘉 文
執行委員	笹 山 美 津 男
執行委員	大 卷 道 秋
会計監査員	東 畑 志 津 男
会計監査員	竹 内 勉
書記	橋 本 茂

近畿地方本部	
役 職	氏 名
執行委員長	園 秀 樹
執行副委員長	佐 藤 友 治
執行副委員長	平 田 尚
書記長	平 野 清 春
執行委員	羽 生 隆 盛
執行委員	三 好 浩 之
執行委員	植 田 重 信
執行委員	西 蘭 重 美
執行委員	永 井 義 信
執行委員	山 脇 浩 志
特別執行委員	居 川 正 仁
会計監査員	前 田 三 喜 男
会計監査員	森 本 克 則
会計監査員	大 谷 正 巳
青年部長	林 昭 男
婦人部長	谷 澤 由 紀 恵
書記	田 中 保
書記	泉 広 恵

岡山地方本部	
役 職	氏 名
執行委員長	後 藤 利 明
執行副委員長	藤 原 義 久
書記長	片 岡 公 夫
執行委員	片 岡 有 宏
執行委員	天 野 伸 行
会計監査員	岡 本 岩 夫
会計監査員	西 原 浩
青年部長	勝 田 哲 也
書記	山 村 ま り 絵

広島地方本部	
役 職	氏 名
執行委員長	佐 々 木 隆 一
執行副委員長	福 田 正 昭
書記長	徳 永 聖
執行委員	長 尾 保 宏
執行委員	沖 川 稔
執行委員	俵 浩 己
青年部長	清 水 良 輔
会計監査員	藤 井 茂 吉
会計監査員	峰 岡 敏 夫
書記	中 島 良 子

米子地方本部	
役 職	氏 名
執行委員長	森 口 朋 実
執行副委員長	三 嶋 千 寿
書記長	倉 下 文 明
執行委員	中 江 巧
執行委員	浅 井 浩 二
執行委員	安 達 晴 彦
執行委員	森 脇 準
執行委員	岡 田 幸 司
特別執行委員	出 戸 健 治
会計監査員	青 柳 利 寿
会計監査員	中 原 昭 彦
書記	前 沖 由 美 子

第34回 拡大西日本本部委員会

2014年2月8日(土)10:30

労働講座

2/8 9:30~10:20



「がん」の保障 <<生きるためのがん保険Days(デイズ)>>		「生きる」を創る。Afiac			
保険期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢: 0歳~80歳、 スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合		◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在) 生きるためのがん保険DAYS(デイズ) スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円 定額タイプ 保険料払込期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年更新)			
初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金として	100万円		
	診断給付金	上皮内新生物の場合	一時金として	10万円	
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円	35歳	45歳
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円	55歳	65歳
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円	男性	3,656円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円	女性	3,734円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 1カ月	10万円 (すべての保険期間を通じ 通算600万円まで)	3,656円	5,608円
		乳がん・前立腺がんのホルモン療法	5万円	9,360円	15,190円
				6,864円	9,048円
				<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率に よって決まります。	
				<募集代理店> アベニール株式会社 TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822 〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F <引受保険会社> アフラック 東京第三法人営業部 〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 当社保険に関するお問い合わせ・各種手続き コールセンター 0120-5555-95	
	プレミアサポート	訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)			
◎詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。		AF007-2011-0186 4月25日			